令和元年度 事務事業総点検シート(1)

	詳細点検							
一般会計						事務事業分類	Α	一般事務事業
事務事業名	来訪者対策事業					シート番号		08-72
担当部署名	文化観光	局	世界文化遺産推進室	部	課	評価責任者(課長名)		増田

≪ I. 基本情報≫

	1	堺市マスタープランの政策体 系に基づく事業の位置付け	政策	政策 2 誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します									
		水に生っくず木の丘匠川川	施策	1	歴史文化を活かしたまちづ	無							
基	2	事業開始年度		平成 29 年度 終了(予定)年度 令和 元 年									
本有情	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)											
報	4	関連計画											
	5 事業実施の経緯 世界文化遺産登録に向けて増加傾向にある来訪者の対応が必要となる。												

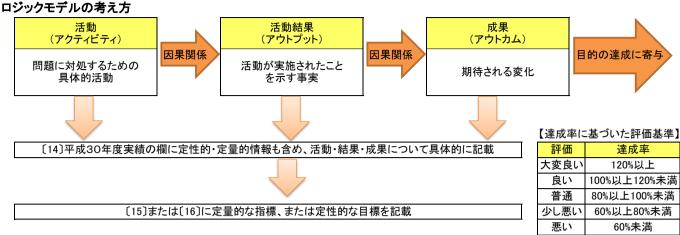
≪Ⅱ. 事業概要≫

	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)		■本庁 □ 各区 □ 出先機関 ()		市外郭団体									
	0			□ 地域団体・市民 □ 民間企業・NPO □ その他 (•)				
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としている のか)	百	舌鳥古場	賁群?	を訪問	引す [、]	る来訪者			·									
	8	事業の目的 (どのような状況にしたい のか)	国	国内推薦以後の増加する来訪者の安全を確保と利便性向上																
事業概要	9	事業内容 (スケジュール、実施方 法・手段、事業ボリューム など)	・ワ ・ス	実施方 スン 実 大 ストッ 実 一 た 方 大 大 た 方 た 方 た た 方 た た た た た た た た た	法一プ法フ法フ法フ	大 4 F M A	は引設書と書く	入口、仁(ら3月まで は は は は は は は は は は は は は は に り に り に り	恵の 遊支 ひかん かんしょう	皇陵拝所 :、関す、 :に関プリ : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	所日(る様)の遊し	等に警備 6、12、1 々な問合 発	計員、2	月を除く。) て対	で応する)。 開発し		方者	音のスマートフォ
	10	直接実施以外の主な支出先	委	託業務	そのき	 	者		1 1							l				

≪Ⅲ. 投入量≫

	ш.	ر:	《八里》					
			項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算
		事業費(a)			0	20,431	25,349	26,403
		主				15,486	5,794	18,568
		な事業	ワンストップ窓口	千円		3,962	4,562	5,227
		*費内	来訪者予測基礎調査	千円		983	0	0
事業	11		周遊ARアプリ作成	千円			14,993	2,608
イコス			国•府支出金	千円				
Ŷ.		財	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		源内	市債	千円				
		訳	その他()	千円				
			一般財源	千円		20,431	25,349	26,403
	12	人	件費(b)	千円	0	19,700	19,700	19,500
	13	総	コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	40,131	45,049	45,903

≪Ⅳ. 評価 (測定・分析)≫



事業の活動内容や成果

平成30年度実績

雑踏警備については、平成30年4月~平成31年3月(一部期間を除く)の土日祝に、仁徳天皇陵古墳拝所周辺及び仁徳御陵駐車場周辺において警備員を5ポスト配置して実施した。国内推薦獲得以降来訪者が増加しており、多い時期には1日1,000人を超えるときもあったが、事故や混乱を起こすことなく、来訪者の安全かつ快適な周遊を確保することができた。

ワンストップ窓口については、年末年始を除き、9時~17時半で実施した。百舌鳥古墳群の周遊に関する問合せをメインで想定しているが、百舌鳥古墳群に加え古市古墳群に関する問合せや、堺市内の観光情報に関する問合せも多く、本来の目的以上に来訪者の周遊をサポートする機能を果たすことができた。

周遊ARアプリについては、平成30年度に作成。平成31年3月21日から公開し、日本語・英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語での古墳群の周遊支援を開始した。これまで日本語・英語のみの表示であった各古墳の解説板は、アプリを通じて中国語・韓国語でも読むことができるようになったほか、歩行者誘導サインを活用したウォーキングコースの設定や、堺市博物館のVRコンテンツやスタンプラリー機能を搭載し、古墳群の価値や魅力について発信することができた。また、古墳だけでなく周辺の施設や店舗の情報を掲載し、快適な周遊の促進をした。

	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度				
			目標値		0	0	0				
	5 警備箇所での事故件数	件	実績値		0	0					
1	言哺固別での争政行数	1+	達成率		100%	100%					
			評価		良い	良い					
	算出方法・設定根拠など	警備範囲内での1年間の事故発生件数									
	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度				
			目標値		20,000	40,000	40,000				
	来訪者数(仁徳天皇陵古墳拝所前) 3 ※雑踏警備実施時のみ(平成29年度は	人	実績値		21,006	42,239					
16	4ヶ月、平成30年度は8ヶ月)		達成率		105%	106%					
	7,7,7,7,3000,7,7,7		評価		良い	良い					
	算出方法・設定根拠など	雑踏警	備実施時 <i>σ</i>)、警備業者による拝所	前での人数カウントを						

業績の分析

動実績と成果

目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)

警備箇所での事故が起きなかった要因としては、受託業者と適切な連絡・調整を行い、大仙公園周辺で実施されるイベント等を考慮しながら適切な配置転換等を行ったためと考えられる。

来訪者数が目標値に達した要因としては、平成29年7月の国内推薦獲得以降増加傾向にあることに加え、各種イベントや講演など登録に向けた機運の醸成や価値や魅力の発信を行ったことによるものであると考えられる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響 はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。